

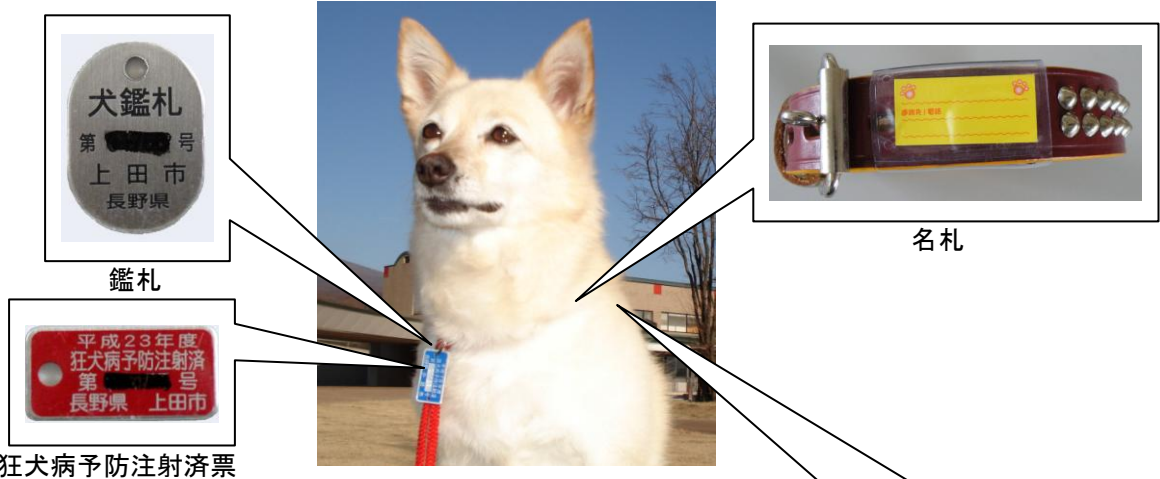
『災害への備え』をしましょう！

～いざという時、災害からペットを守るために～

飼主が普段から備えておくこと

① 所有者の明示をしましょう！

災害時にはペットと離ればなれになってしまうことがあります。迷子のペットを探すときや保護されたときのためにも、飼い主がすぐにわかるようにしておきましょう。大切なペットのために、鑑札や狂犬病予防注射済票、迷子札をつけておきましょう。首輪がはずれてしまったときのため、マイクロチップを埋め込むことも考えましょう。



【マイクロチップ】

直径2mm、長さ約8～12mmの円筒形の電子標識器具で、世界で唯一の15桁の数字(番号)が記録されています。一度体内に埋め込むと、脱落することはほとんどなく、データが書きかえられることもない確実な証明となるため、動物の安全で確実な個体識別(身元証明)の方法として、世界中で広く使われています。



マイクロチップ

② 普段からしつけをしっかりと行いましょう！

災害時には現場が混乱するうえ、人もペットも動揺してしまいます。おとなしいペットも状況によって暴れたりすることもあります。日頃からクレートやケージ等に入れるトレーニングや多くの人に慣れるようにしましょう。



③ 健康管理をしましょう！

災害時の不要な混乱をさけるため、狂犬病予防注射や感染症のワクチン接種を必ずすませておきましょう！病にかかっている場合はすすんで治療を行いましょう。



動物用避難袋を準備しましょう

① 動物を飼育するための道具

動物を安全な場所へ避難させるために首輪、リード(引き綱)、キャリーバッグ、クレート、ケージ、ペットシーツ、食器等を用意しておきましょう。



クレート



首輪、リード(引き綱)




食器

② 食事と水および常備薬

3～5日分の食事と水、現在服用中の薬を備えておきましょう。

③ 動物の写真と飼育手帳

動物の写真は家族と一緒に写ったものを数枚用意しておきましょう。又、動物の情報を詳しく書いた手帳(犬の名前、年齢、病歴、飼主の住所・氏名・連絡先・かかりつけ動物病院など)を用意しておきましょう。

健康手帳	
	
氏名	
住所	
個体識別番号(どうぶつID番号)	
バーコードシールを貼付欄	
【この動物には、個体識別のためのマイクロチップが埋込まれています】	

ペットの安全を確保するために、
日頃から家族・地域で何ができるかを話し合っておきましょう。